生徒一人一人のよさを見極め、称賛し、夢と希望を育む学校

南中だより 12月号

羽生市立南中学校
令和５年１１月３０日発行

３年生の校長面接を終えて

校長　橋本　良典

１０月から昼休みと放課後に始めた３年生一人一人との校長面接が先日ほぼ終了しました。「将来の夢や就きたい職業は？」との質問に「人のためになる職業に就きたい」と応える生徒がいました。その素敵な回答は、ぜひ、そうあってほしい！と心地よく受け入れた回答でした。

さて近頃、どうもすっきりしないニュースが、大学生運動部の「大麻使用」。「大麻グミ」。「ホスト沼・売掛」。「私人逮捕系動画投稿」。そして、「特殊詐欺」。いずれも、人のこころの“スキマ”や傷ついたこころに土足で入り込むとともに、心理を操作することで自分の利益にする、まさに自分勝手で絶対に許せない行為に腹が立ち、胸がムカムカします。しかし、加害者は、仕事とか、その人のためにとか、正義の味方等、独自で勝手な解釈で冷然と行っている者もいるようで解決には奥が深いと感じています。

ところで、次の詩は、羽生市出身の詩人宮澤章二先生の詩、「こころが傷ついたとき」の一部です。

> 他人のちょっとした行為さえ　鋭く感じ　☆　友人のちょっとした言葉さえ　深くとらえ
> 自分にしかわからない痛みで傷つくもの　☆　ハートが　そよ風に揺れる花だからなんだ
> ハートが　こころが　ふと傷ついたとき
> 友人の　他人の　何気ない思いやりで救われることがある　本当に　あるんだよ

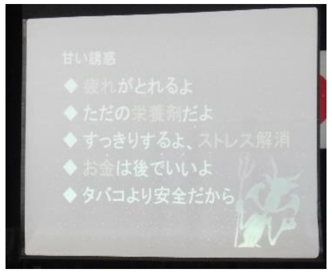
こころの元気が弱ったときの情態を表現していて、うなずいてしまいます。

１１月２１日（火）、右記にもありますが、薬物乱用防止教室が行われました。講師の鹿山先生は、その中で薬の取扱も含めて「自分自身の生き方や考え方そのもの」が、薬物乱用に手を染めず健全な人生を歩んでいけるとまとめたのでした。

３年生の校長面接を終えて・・・。これからの人生、時には、こころが傷つくこともあるでしょう。挫折することもあるでしょう。想定外の災難等もあるでしょう。それゆえ、すべての大人たちが、きみたちに対して、他人様の大事なものを奪うことのないような“まっとうな人生”を歩めるよう深い思いを抱いています。一方で、くじけない強いこころを養い、こころが傷ついたときに、よりよい手立てができるか？職責の重さを痛感したのでした。

薬物乱用防止教室

１１月２１日（火）の午後、土橋薬局の鹿山高彦先生を講師にお招きし、薬物乱用防止教室を行いました。近年問題になっている大麻の話や、その他危険な薬物に関する講話をしていただきました。大麻はSNSなどで簡単に手に入る時代な上、自分で栽培できるために乱用者が増えているという現状に、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。近年、薬物使用は急速に低年齢化が進んでおります。家庭でも中学生のうちから「NO　DRUG」を強く意識させてください。



日	曜日	予　　定
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	月例費引き落とし
5	火	
6	水	２学期末ＰＴＡ　登校指導日 スキー学校説明会（1年）
7	木	羽生市学力アップテスト（1，2年） 5時間授業　生徒会専門委員会
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	特別日課（5時間）

日	曜日	予　　定
16	土	
17	日	
18	月	特別日課（5時間）
19	火	特別日課（5時間）
20	水	特別日課（4時間）　給食終了 大掃除③④
21	木	特別日課（3時間）
22	金	終業式（部活動中止）
23	土	
24	日	
25	月	冬季休業日（1月8日まで）
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	大晦日

自己啓発の日：6日、13日、20日　　　下校指導：13、20日

※校庭の貯留地工事で駐車場が確保できないため、スキー学校説明会（1年）は羽生市産業文化ホールで実施します。